

# 岡山県乳質改善第1期5ヶ年計画終了

## 第5回乳質改善共例会

### 5ヶ年をふりかえって

この乳質改善共例会は、岡山県乳質改善協議会が岡山県乳質改善指導要綱にもとづいて「牛乳及び乳製品の成分規格等に関する省令」に定める生乳規格に適合する良質の牛乳を生産し、優良な牛乳、乳製品の生産供給を図るための品質改善と、二等乳発生の根絶によって堅実なる酪農経営の進展を図ることを目的として原料牛乳の品質管理の困難な季節、即ち5月から9月末までの5ヶ月間を会期として、協議会を構成している416の単位酪農組合を対象に、県下23ヶ所の指定検査機関において実施しているもので、昭和35年度から始まり、39年度は第1期5ヶ年計画のしめくりであった。

この5ヶ年間で、延べ2万人の指導陣容を動員し、約1千万円の経費を投入しており、その成果をみると、①二等乳出荷率の面においては3.6%から2.1%と、1.5%もの大巾な減少を示し、効果が如実に現われたが、その反面②生乳細菌数規格の面においては、当初の計画数値（1cc中400万個）の約1/2程度ではかばかしい効果はあがらなかった。

### 第5回共例会成績

第5回岡山県乳質改善共例会褒賞授与式が、3月18日、岡山市磨屋町の県農業会館で行われました。

なお、昭和39年度共例会の優秀賞、地域賞は表のとおりであって、共例会の成績を簡単に記しますと

#### (1) 検査対象の概略

今年度の共例会の対象となった検査対象乳量は、38年度の110.4%に当る27.254tで、その内訳は備前地区6.230t、備中地区9.524t、美作地区11.500tであった。

#### (2) 衛生管理の概略

生乳衛生管理の指標は細菌数による汚染度合で示されますが、39年度に細菌数4百万（1cc中）以上のクラスの生乳を出荷した組合の度数分布は32.4%（38年度より3.7%減）で、県下

全般としては足踏状態であるが、しかしながら備中地区を除けば前年に比べ、46%の平均向上率となり、約40%の組合が細菌数4百万以下ということで、徐々に改善されつつあります。

次に乳量の方からみると、対象乳量の24.5%が細菌数4百万以下となっている。

#### (3) 二等乳出荷率の概略

二等乳の出荷量及び率は、共例会開始当時の3.626%から徐々に向上し、39年度には2.113%となり、1.513%と大巾に改善された。

#### (4) その他

比重、酸度及び風味については概ね良好であったが、特に比重については備中及び美作地区で低いものが目立って多くなっている。

また、褒賞授与式のあと、協同乳業東京工場比企クーラーステーション所長尾沢緑氏の、埼玉県における乳質改善の方法についての講演が行われた。

授賞目録		
岡山県乳質改善共例会開催要領第7項該当褒賞の部		
(1) 優秀賞		
目録	地区別	団体名
岡山県知事賞 岡山県乳質改善協議会会長賞 日本乳製品協会賞	備前	神崎酪農組合
岡山県協議会議長賞 岡山県乳質改善協議会会長賞 日本乳製品協会賞		鹿忍酪農組合
(2) 地域賞		
目録	地区別	団体名
岡山県衛生部長賞 岡山県乳質改善協議会会長賞	備前	児島酪農協同組合連合会山坂班
		木庄酪農組合 吉塔酪農組合
岡山県乳質改善協議会会長賞	備前	千手酪農組合
		岡山県北部酪農協同組合川東酪農組合
	美作	倭文桑上酪農組合
		河辺酪農組合 上河内酪農組合